

# 平成26年度 自己評価報告書

華服飾専門学校

平成27年3月18日作成

# 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 建学の精神は「華学園の教育を通じて、時代の求める職業人を育成し社会の発展に寄与する事」であり、行動指針の第一条は「社会のニーズを知り、技能を修得し知識と礼節を身に付けること」と定めている。</li><li>・ 「本校は服飾に関する専門的学理と技術を教授し、職業に必要な能力を育成すると共に、教育の向上を図り、我国文化並びに社会に貢献することを目的とする」事を具体的目標として学則の第一条に定めている。</li></ul>
平成26年度重点目標
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社会のニーズに合った基礎技術を身に付け修得する。</li><li>・ ながらスマホ等の撲滅、挨拶、返事などの社会人としてのマナーを身に付ける。</li><li>・ 就職に対する意識付けを早期から行う。</li><li>・ 就職の質の向上に努める。</li><li>・ 教員の資質向上に努める。</li></ul>
計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 平成26年度に導入した工業用マシンやCADなどを活用して基礎・応用技術の修得を目指す。</li><li>・ 校外研修でのマナー教育および「ながらスマホ等の撲滅」「朝の挨拶当番」などを実施して挨拶、返事の指導強化に努める。</li><li>・ キャリアセンターと協力し分野別の企業説明会、校外研修を行う。</li><li>・ 卒業生の各企業での在籍確認を行い、寄せられた求人票から好条件の企業情報を各担任と共有するとともに、業界を知るために各担任が企業との情報交換に努める。</li><li>・ 外部団体が主催する研習会に教員が参加する。</li></ul>
計画の達成状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 基礎技術の修得は向上が図られた。</li><li>・ 「ながらスマホ等の撲滅」「朝の挨拶当番」などを実施して指導強化に努めた。</li><li>・ 就職に対する早期意識付けはキャリアセンターと協力し分野別の企業説明会、校外研修を集中して行った結果、学生の就職に対する意識は高まり就職活動開始時期が早まった。</li><li>・ 卒業生の各企業での在籍確認を行い、寄せられた求人票から好条件の企業情報を各担任と共有し、業界を知るために各担任が企業との情報交換を持った。</li><li>・ 外部団体が主催する研習会に教員が参加した。</li></ul>
課題と解決方策
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 基礎技術については実習時間を増やし向上したが、今後は応用技術の習得をさらに目指す。</li><li>・ 「ながらスマホ等の撲滅」「朝の挨拶当番」については、服飾校の教員だけでなく他校の教員や学園の来客にも積極的に挨拶できるように声掛けし根気強く指導していく。</li><li>・ 担任が就職先に関する知識を身に付け、キャリアセンターと連携して就職に対する早期意識付けを行う。</li><li>・ 企業と連携し、業界のニーズの把握や学生に必要な技術の習得など教員の資質向上に努める。</li><li>・ 教員の研修会参加について、組織的に行うように努める。</li></ul>

基準項目ごとの学校自己評価及び学校関係者評価・意見

基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準1 教育理念・目的・育人材像等	理念・目的・育人材像は定められているか	学園の建学の精神に則り明確に定めており、その実現に向けて教職員共通認識の下、取り組んでいる。 この内容については学生便覧で明示している。	5	5
	育人材像は業界の人材ニーズに適合しているか	平成26年度職業実践専門課程認定を受け教育課程編成委員会を発足させた。その委員会において関連する企業から意見をいただき、その提案により業界の人材ニーズを取り入れている。	4	5
	特色ある教育活動に取り組んでいるか	就職先にあわせた学科、コース編成を取り入れた。	4	4. 5
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・服飾学校としての華学園は、高校現場の中でもしっかり定着し、知られている。 ・時代にあった取り組みをしている。		評価平均	
			4. 3	4. 8
基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準2 学校運営	理念に沿った運営方針を定めているか	建学の精神に基づき明確に運営方針が定められている。	4	4. 5
	事業計画を定めているか	学園の経営方針に則り、事業計画および予算を編成している。事業計画および予算は、理事会・評議員会で承認を経た後に、その進捗状況について、毎月の連絡会議、業務報告会議において理事に報告の上確認、修正を行っている。	3	3
	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	組織運営の健全化を図るため、前年度の実績をもとに年度初めに組織が再構成されている。	4	4
	人事・給与に関する制度を整備しているか	人事考課制度及び、給与規程が整備されている。個々に業務目標を立て、その達成度を上席者と面談し評価を行い、給与規程に則り、昇格、降格、賃金を決定している。	4	4
	意思決定システムは確立されているか	稟議制度により各部署から理事長まで案件が回付され決定される。 稟議に馴染まないものについては職員会議を通じて、意思決定を図っている。	4	4
	情報システム化により業務の効率化を図られているか	各部署パソコンを導入し業務の効率化を図っているが、今後は学園全体のネットワーク利用により、業務の効率化を図る必要がある。	2	3
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・教育の中でのICT化は、費用がかかるが不可欠であり、情報システムの効率化は急務である。		評価平均	
			3. 5	3. 8

基準項目ごとの学校自己評価及び学校関係者評価・意見

基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準3 教育活動	各学科の教育目標は業界のニーズに合致しているか	教育理念および教育課程編成委員会の意見を取り入れ、学科毎に定めている。	4	4
	各学科の教育目的に沿ったカリキュラムが編成されているか	カリキュラムについてはシラバスを作成し、学科ごとにその授業内容を定めているが、今後はその内容の適正さを精査する必要がある。	3	3.5
	キャリア教育を実施しているか	専任の就職担当を配し、単に就職対策だけでなく企業の方をお招きしてのキャリア教育を実施している。今後は研修内容の強化とアクティブラーニングの導入を検討している。	4	4
	授業評価を実施しているか	学生によるアンケートは散発的に実施しているが、授業評価まではいたってないため、実施方法を策定検討している。	2	2.5
	成績評価・修了認定基準を定め、適切に評価しているか	学則により科目ごとの成績評価・単位認定の基準は明確に定められており、それに基づき適切に評価されている。	4	4
	資格・免許取得の指導体制はあるか	ファッション業界で必要な資格について、正規授業内でその対策を行い合格率を上げるために補講を行っている。	4	4.5
	資格・要件を備えた教員を確保しているか	専修学校設置基準第41条に準拠し、教員を確保しており、専任教員・非常勤講師とも全員、実務経験者である。助手は家政系の大学・短期大学・専門学校卒業者から確保している。今後の教員確保のため、業界とのパイプを太くする必要がある。	3	4
	教員の資質向上への取組みを行っているか	研修企業を選定し、業務委託契約を結び教員向け研修の講師派遣を依頼し教員の資質向上に努めており、個々の教員が自主的に適切な講座を受講している。 勉強会を開催するなど教員のレベルの平準化が必要と考える。	3	4
	学校関係者評価・意見・改善方策		評価平均	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブラーニングは、知識定着の他に社会に出た時の、クリティカルシンキングの力の育成のためにも必要。そのためには教材・教科のバランスと、授業全体をコーディネートする力が必要である。</li> <li>・資格・資質の向上など前向きに取り組む、非常に良い。</li> </ul>		3.4	3.8	

基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準4 学修成果	就職率の向上が図られているか	就職希望学生の就職に関しての目標は、ほぼ達成しているが、技術系職種については希望通りの就職が厳しい現状のため、技術力の向上、技術試験対策、求人の確保が必要である。	4	4.5
	資格・免許の取得率の向上が図られているか	就職に役立つ資格取得講座を取り入れて、正規授業内においても対策講座を行った結果取得率は伸びている。今後は資格取得の重要性を学生に認識させるよう努め、さらなる資格取得を促す。	3	4
	卒業生の社会的評価を把握しているか	毎年、企業に卒業生の在籍状況などの確認を行っているが、情報不足は否めない。今後は同窓会の活動を活性化させ、卒業生の情報収集に役立てる。	2	2.5
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・世の中の動きに対応し、戦略を練る事も大切であるが、まわりに惑わされず、真摯に技術習得に向き合う事も専門学校の役割である。 ・資格・免許の取得向上が必要。		評価平均	
			3.0	3.7
基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準5 学生支援	就職等進路に関する支援組織体制を整備し、有効に機能しているか	就職専任のキャリアセンターを組織し、クラス担任と連携した就職体制を整備している。今後は担任が就職先についてさらに理解を深める必要がある。	4	4.5
	退学率の低減が図られているか	早期に学生の異変を察知するようにし、担任、学生指導係、必要があれば保護者と連携して対応に当たっている。	2	3
	学生相談に関する体制を整備しているか	クラス担任および学生指導係、教務部が連携して学生相談に当たっているが、最近は学生の悩みも多様化しているため、専門家によるサポート体制も検討したい。	3	4
	学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	民間学生寮の紹介、アルバイト進学制度を設けている。アルバイト進学希望者には、就職先企業紹介と同時に住居として社員寮が提供され、働きながら学べる支援体制を整備している。また、アルバイト進学学生の生活指導を会社と連携して行う。	4	4.5
	保護者との連携体制を構築しているか	保護者に成績表の送付などを含め連絡・報告し適切に連絡している。特に問題の多い学生については保護者と連携を密にしている。	4	4.5
	卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生に対しても、就職斡旋等を積極的に支援している。また、卒業生からの各種証明書の申し込みについてはホームページから申込できる体制を作っている。	2	3.5
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・学生一人ひとりにしっかり向き合っている点は評価に値する。 ・全体の就職率も大切であるがどの分野に行き、どう仕事をするかが、専門学校の卒業生として大切である。		評価平均	
			3.2	4.0

基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準6 教育環境	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	基本的な設備・教育器具は整備されており、教育課程編成委員会で提案されたカリキュラムに必要な施設・設備は可能な限り整えている。平成26年度はCAD、工業ミシンを導入した。	3	3.5
	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習、インターンシップについては実施しているが、技術系の受け入れ企業が少ないため、受け入先の開拓に努めて充実させる。なお、希望者対象に海外研修旅行を実施している。	4	4.5
	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	学園の防災組織を整備し、各校、関係部署の防災責任者による防災会議を定期的に行っているが、防災訓練に対する取り組み姿勢がまだまだ低いため、さらに検討が必要となっている。	4	4.5
	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	年2回の自衛消防訓練（防災・防火避難訓練）を実施するなど、適切に運用している。学生、職員への防災グッズの配布と、学園での防災用品の備蓄を行っている。校舎においては、全て耐震構造となっている。	5	5
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・ICT化はぜひ必要であり、設備(最新)の強化は重要である。		評価平均	
			4.0	4.4
基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準7 学生の募集と受け入れ	学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	高校の進路担当者へ積極的に情報提供を行っている。また、高校からの要請によるガイダンスや見学会には可能な限り応じている。進路のミスマッチを防ぐために体験入学において、授業体験や教員との面談を実施している。また、積極的に保護者の見学等も受け入れている。	4	4.5
	入学選考基準を明確化しているか	入学選考基準を明確に定め、その基準を募集要項に明記している。	5	5
	学納金は適正なものとなっているか	実習が多いため材料費などはかかるが、入学者の経済面を考慮して教材の仕入れについては、各方面に協力を得て価格に対して満足の高い設定になっている。	4	4.5
	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退者から返金の申し出があった場合は、「入学辞退者に対する授業料等の取り扱い（18文科高第536号）」に則り、適正に処理されている。（入学金を除き返還に応じており、募集要項に記載済み）	4	5
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・高校側には、具体的にいつまで（いつごろ）にいくらかかるのか、しっかり知らせしてほしい。それが信頼につながる。		評価平均	
			4.3	4.8

基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準8 財務	中長期的な財務基盤は安定しているか	充実した専門教育の実施に必要な教職員、施設設備等を確保して学校運営を行っている。 借入金も無く、設備投資等も全て自己資金で行っている。財政基盤は安定しているとはいえ、18歳人口の減少という厳しい状況をふまえ、入学者確保を重視した学校運営をするとともに、安全確実な資金運用による財務基盤の向上を目指す。	3	3
	予算、中期計画は妥当なものとなっているか	予算計画の中心である学園事務局の機能を高めるとともに、各学校教務部との連携を深め、単年度予算および中期計画を策定している。中期計画については、まだ短期的に捉えているところがあり、視野を広めた計画を立てる必要がある。また、予算編成および予算執行全般について、さまざまな改善を実施したことで、無駄な支出を防ぎ、経費節減が図られている。	3	3
	財務についても適切に監査を実施しているか	公認会計士による、日常および決算書類作成の会計指導が行われ、監事による会計監査を行っている。決算後には、公認会計士から報告書が提出され、指摘事項等について改善を図っている。	4	4
	財務公開体制を整備しているか	私立学校法における財務情報公開の基準に沿って、ホームページでの公開や希望者への閲覧体制を整えている。ホームページ等インターネットを活用した公開方法については、今後も工夫を重ねていく必要がある。	3	3
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・生徒の学費が経営に関係すると思うが、それが十分に学生の教育に反映されるようにしてほしい。		評価平均	
			3. 3	3. 3
基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準9 法務等の遵守	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営を行っているか	当校設立以来法令や専修学校設置基準を遵守し、適正に学校運営を行っている。	4	4
	個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報に対する取扱いについては、徹底を行っているがパソコンの普及により、さらなる対策を講じる必要がある。	3	3. 5
	自己評価・学校関係者評価の実施体制は整備されているか	毎年、自己点検・自己評価を行い、自己評価については学校関係者評価委員からの評価を受け、ホームページにて公表をしている。また、指摘事項については速やかに改善を行っている。	4	4
	教育情報に関する情報公開を行っているか	ホームページへの掲載を行っている。	5	5
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・ITC化は重要。 ・大学も高校も自己評価、生徒アンケートは必須。		評価平均	
			4	4. 1

基準項目	中項目	自己評価		学校関係者評価
		評価総括並びに改善方策	自己達成評価	自己評価の妥当性
基準10 社会貢献	社会貢献・地域貢献を行っている か	台東区教育委員会から要請を受け、区内の小学校で地元浅草の皮革産業にちなみ、皮革を使ったミニチュア小物の製作を行う。日常における学校周辺の清掃活動などに取り組んでいる。	3	4
	学校関係者評価・意見・改善方策 ・専門性が高い程、上記のような取り組みはとても楽しい。		評価平均	
			3	4

**【注記】**

※達成状況は

5=完璧 4=かなり進んでいる 3=普通 2=やや足りない 1=ほとんど進んでいない

NA=当てはまらない

※学校関係者評価は

自己評価の妥当性

5=目標を十分達成している 4=目標を達成している 3=目標をほぼ達成しているが改善の余地がある

2=目標を達成するにはいくつかの課題がある 2=課題が多く改善が必要